

・お聞きした情報は個人情報保護の取扱いに関する基本事項に基づき適切に管理します。疑問・質問等ございましたら、等薬局の薬剤に遠慮なくご相談ください。

・以下の項目は厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出ており、基準に係る区分に応じて所定の点数を加算します。（注）ただし※の項目を除く

時点で地方厚生局長へ届け出を行っている施設基準

表①

調剤基本料 3 イ	24点	同一グループ（株式会社ミズ）の保険薬局の処方箋受付回数合計が月4万回超～40万回以下の要件に含まれ、かつ（ア）・（イ）のいずれかに該当する。 （ア）保険薬局集中度 85% 超え（イ）特定の保険医療機関の不動産の賃貸借取引がある
連携強化加算	5点	他の保険薬局、保健医療機関及び都道府県等の連携により、災害又は新興感染症の発生等の非常時に必要な体制（第二種協定指定医療機関）が整備されている保険薬局において、調剤した場合に所定の点数を加算します。
後発医薬品調剤体制加算 3	30点	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の相談をお受けし、使用を推進しています。当薬局は後発医薬品の調剤数量が90%以上の後発医薬品調剤体制を整備しています。
医療DX推進体制整備加算	4点/6点/7点	別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険薬局において調剤した場合、月1回に限り所定の点数を加算します。 適応時期の3月前のレセプト件数ベースマイナ保険証利用率により適応される点数が異なります。ただし、令和7年1月までは適応時期の2月前のオンライン資格確認件数ベースマイナ保険証利用率とで高い方の利用率を用いることができます。
かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料	76点/291点	患者が選択した1名の「かかりつけ薬剤師」が、保険医と連携して他の医療機関や薬局からの処方薬や、一般用医薬品・健康食品及び飲食物についても一元的・継続的に把握した上で、服薬指導等を行うものです。「かかりつけ薬剤師」は保険薬剤師として相当の経験と実績を有しており、研修認定を取得しています。また当薬局に一定の時間以上勤務し、いつでも薬や健康の相談を受け付けます。同意書が必要であり、お薬手帳には患者さんの「かかりつけ薬剤師」である旨の薬剤師氏名・薬局名を記載します
在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算	250点	在宅患者訪問薬剤管理指導を行っている患者にあつて医療用麻薬持続注射療法を行っている
在宅中心静脈栄養法加算	150点	在宅患者訪問薬剤管理指導を行っている患者にあつて在宅中心静脈栄養法を行っている
在宅患者訪問薬剤管理指導料	1:単一建物1人:650点/回 2:2人以上9人以下:320点/回 3:1及び2以外:290点/回	あらかじめ在宅患者訪問薬剤管理指導を行う旨を地方厚生局長等に届け出た保険薬局において、在宅で療養を行っている患者であつて通院が困難な方に対し、医師の指示に基づき、保険薬剤師が薬学的管理指導計画を策定し、患者を訪問して、薬学的管理及び指導を行った場合に、単一建物診療患者の人数に応じて一回の処方箋受付について所定の点数を算定します。